

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	県民生活部 中山間・地域振興課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム		
施策名	【重点】生き活き拠点（小さな拠点）の形成促進		

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	社会増減数（外国人を含む）	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	-1,200	-900	-500	+1
現況値	転出超過：-1,571人/年（2020年）	実績値	-4,776			
目標値	転入超過：+1人/年	達成率	※-%			
備考		達成度	※1			

  

指標名	集落生活圏を維持するための小さな拠点の形成数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	4	6	8	9
現況値	36箇所（2019年度）	実績値	5			
目標値	45箇所	達成率	125%			
備考	2021年度：41箇所（達成率は現況値からの増加数で算出）	達成度	5			

3 関連する事業名

- ・ 生き活き拠点強化支援事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

生き活き拠点形成促進については、新たにモデル地区に選定した3箇所において、公的施設を改修し、地域住民のコミュニティ活動等の場として活用するための「拠点形成計画」を策定した。また、2020年度に「拠点形成計画」を策定した1カ所のモデル地区において、計画に基づき、住民の交流拠点としての機能も備えた、地域運営組織の多様な活動の核となる施設の整備を行ったところであり、本施設を拠点とした、住民による集落機能の維持・確保に向けた取組の展開が期待される。

6 今後の施策推進に向けての課題

集落生活圏の維持につながる拠点の整備には、地域の全体像や将来ビジョンの明確化と、ビジョン実現に向けた具体的取組を伴うことが必要である。そのため、地域の方向性を自ら決定することの重要性を認識し、地域課題解決のための話し合いや具体的取組の主体となる地域運営組織に対する支援とともに、地域運営組織を支える市町村の取組に対する支援を行っていく必要がある。これらの取組を通じて、地域における日常生活に必要な生活サービスの提供体制を維持し、地域の持続可能性を高めるとともに、ひいては社会減対策も含めた人口減対策につなげていく必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	県民生活部 中山間・地域振興課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム		
施策名	【重点】集落機能の維持・強化		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	社会増減数(外国人を含む)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	-1,200	-900	-500	+1
現況値	転出超過: -1,571人/年(2020年)	実績値	-4,776			
目標値	転入超過: +1人/年	達成率	※-%			
備考		達成度	※1			

指標名	地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する地域運営組織の数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	32	42	52	62
現況値	258組織(2019年度)	実績値	34			
目標値	320組織	達成率	106.3%			
備考	2021年度: 292組織(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	4			

3 関連する事業名

- ・おかやま元気!集落活動促進支援事業
- ・地域の多様な担い手確保・活動支援事業(地域マネジメントコンサルティング事業)
- ・地域と暮らしの維持応援事業(集落再編支援事業)

4 施策達成レベル

2.5	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

市町村において、地域運営組織の設立・充実の機運が高まっている中、「おかやま元気!集落」制度による支援を活用し、地域の現状・課題の把握や住民の交流拠点の整備、地域資源の活用、空き家対策等、集落機能の維持・強化に向けた、地域による自主的な取組が進んでいる。また、5市町において地域支援の庁内推進体制整備を伴走支援し、支援制度の見直し等につながっている。

6 今後の施策推進に向けての課題

市町村と情報共有を図り、支援を必要としている潜在地域を掘り起こすとともに、活動の停滞が見られる既存のおかやま元気!集落に対しては、先進事例の紹介や専門家派遣等、各地域のニーズに応じた支援を行っていく必要がある。また、将来の集落のあり方について地域が考えるきっかけとなる機会も引き続き提供していく必要がある。これらの地域への支援とあわせ、市町村に対して、地域支援の庁内体制整備やノウハウ蓄積の支援を引き続き行うとともに、市町村と一緒に地域に入り、地域運営組織の立ち上げや再構築の支援を行うなど、市町村と連携しながら、地域住民が互いに支え合う仕組みづくりを推進して、集落機能の維持・強化を図り、ひいては社会減対策につながるよう取り組んでいく必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 県民生活部 中山間・地域振興課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム
施策名	【重点】多様な主体の活躍による持続可能な中山間地域等の形成促進

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	社会増減数(外国人を含む)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	-1,200	-900	-500	+1
現況値	転出超過: -1,571人/年(2020年)	実績値	-4,776			
目標値	転入超過: +1人/年	達成率	※-%			
備考		達成度	※1			

  

指標名	地域おこし協力隊の新規着任数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	63	63	63	63
現況値	63人/年(2019年度)	実績値	56			
目標値	63人/年	達成率	88.9%			
備考		達成度	※2			

3 関連する事業名

- ・持続可能な中山間地域等形成事業
- ・地域と暮らしの維持応援事業(集落再編支援事業を除く)
- ・地域の多様な担い手確保・活動支援事業(地域おこし協力隊着任・活動アシスト事業)
- ・小中学生離島の魅力発見・発信事業

4 施策達成レベル

1.5	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

第3次プランの地域別構想を踏まえながら多様な主体と連携して地域の産業や観光の振興等に取り組んだほか、交流拠点や子育て環境の整備をはじめ、地域の課題解決に向けて市町村が住民や各種団体と連携して実施する取組を支援し、持続可能な地域づくりを推進した。市町村による地域おこし協力隊の活用促進にも取り組み、隊員による特色ある取組が県内各地で行われている。そのほか、離島での自然・伝統等の体験や、地域課題解決に向けて地域と協働して行う調査・研究活動を通じて、小中学生や大学生の地域に対する理解や関心、愛着心を醸成することができたほか、地域課題解決に向けた具体的な取組にもつながっている。

6 今後の施策推進に向けての課題

持続可能な中山間地域等の形成に向け、県民局や市町村と連携し、事業の目的や実効性を考慮しながら、それぞれの地域の実情に応じた取組を進めていく。地域おこし協力隊については、地域に合ったより良い人材を獲得するための市町村への支援や、隊員間の連携・交流の深化に引き続き取り組む。また、地域課題解決の具体的な取組事例等、事業で得た成果の活用に努めながら、引き続き、多様な主体と連携して、安心して暮らし続けることができる地域づくりを進め、人口減対策にもつながるよう取り組んでいく。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	県民生活部 中山間・地域振興課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム		
施策名	【重点】移住・定住の促進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	社会増減数(外国人を含む)	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	-1,200	-900	-500	+1
現況値	転出超過: -1,571人/年(2020年)	実績値	-4,776			
目標値	転入超過: +1人/年	達成率	※-%			
備考		達成度	※1			

指標名	移住相談件数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	2,430	2,450	2,470	2,500
現況値	2,430件/年(2019年度)	実績値	1,499			
目標値	2,500件/年	達成率	61.7%			
備考		達成度	※1			

3 関連する事業名

- ・岡山移住・定住促進パワーアップ事業
- ・移住・定住促進応援事業
- ・吉備高原都市活性化パートナーシップ事業

4 施策達成レベル

1.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

デジタルマーケティング事業により把握した移住希望者のニーズ等を基に、デジタル技術を活用したコンテンツの強化や、ポータルサイトの改修を行うことにより、ポータルサイト来訪者数の増加につなげることができた。また、オンラインと現地を両立させたハイブリッド形式によりセミナー等を開催するなど、新たな生活様式に対応した効率的かつ効果的な情報発信を行い、本県への移住・定住の促進を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

新型コロナウイルス感染症を契機とした個人の価値観の変化や、働き方の見直しによるテレワーク等の普及の動きを捉え、市町村等と連携し、ワーケーションや二地域居住の取組や新たなニーズに合わせたきめ細かな情報発信を展開し、将来的な移住・定住の促進にもつながる関係人口の創出に努めるとともに、引き続き受入環境の整備を進め、本県への人の流れの拡大につなげていく必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	土木部 道路建設課
重点戦略	Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム		
施策名	【重点】地域の生活を支える道づくり		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	地域の拠点性を高めることにつながる交通難所改善箇所数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	50	100	150	200
現況値	47箇所/年(2019年度)	実績値	46			
目標値	200箇所(4年間累計)	達成率	92%			
備考	目標値は2021~2024年度の累計	達成度	3			

3 関連する事業名

- ・おかやまスタンダード道路事業
- ・中山間地域等交通難所緊急対策事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

すれ違いが困難な箇所や見通しの悪い交通難所を46箇所改善し、中山間地域等における生活の中心となる拠点的地域の機能強化を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

引き続き、すれ違いが困難な箇所や見通しの悪い交通難所の改善を効果的・効率的に推進し、中山間地域等における生活の中心となる拠点的地域の機能強化を図る必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	農林水産部 鳥獣対策室
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム		
施策名	【重点】農作物等の鳥獣被害防止対策の推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	シカの捕獲数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1.45	2.9	4.35	5.8
現況値	1.2万頭/年(2016~2019年度の平均)	実績値	1.64			
目標値	5.8万頭(4年間累計)	達成率	113.1%			
備考	目標値は2021~2024年度の累計	達成度	4			

指標名	イノシシの捕獲数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	2.6	5.2	7.8	10.4
現況値	2.6万頭/年(2016~2019年度の平均)	実績値	2.5			
目標値	10.4万頭(4年間累計)	達成率	96.2%			
備考	目標値は2021~2024年度の累計	達成度	3			

3 関連する事業名

- ・有害獣捕獲強化対策事業
- ・鳥獣被害防止サポート事業
- ・銃猟の担い手確保・育成対策事業

4 施策達成レベル

3.5	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

有害鳥獣の効果的かつ効率的な捕獲のため、市町村が行う有害許可捕獲への支援に加え、兵庫・鳥取との3県連携によるシカの捕獲強化、鳥獣対策の専門知識を有する人材や実践的に活躍できる銃猟の担い手の育成を総合的に推進し、シカでは約1.64万頭、イノシシでは約2.5万頭を捕獲し、農林水産被害金額の低減を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

野生鳥獣による農林水産被害金額は依然として高い水準で推移する中、シカ、イノシシの推定生息数は減少傾向であるが、生息域の拡大により生活環境への被害も増加するなど新たな課題への対応も必要となっている。このため、引き続き、市町村や専門家等と連携しながら、防護、捕獲、利活用、担い手の確保・育成、狩猟の適正化などの基本的対策の枠組みを維持しつつ、これまでの成果等の検証を行いながら、持続的かつ効果的な被害防止対策を推進する。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	農林水産部 農村振興課
重点戦略	Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム		
施策名	【重点】農山漁村の振興		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	農家民宿延べ宿泊者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	2,100	3,300	4,600	6,000
現況値	4,986人/年(2019年度)	実績値	3,928			
目標値	6,000人/年	達成率	187%			
備考		達成度	5			

3 関連する事業名

- ・農山村活性化総合対策事業
- ・農山村地域資源活用促進事業
- ・中山間地域等直接支払対策事業

4 施策達成レベル

5.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

農家民宿での農林漁業体験等の動画を作成し、SNSやホームページ情報発信するとともに、特産品の磨き上げや地域を牽引する人材の育成講座の開催など、農家民宿の魅力向上に取り組む地域等を支援し、農山漁村地域への誘客を図った。
--

6 今後の施策推進に向けての課題

新型コロナウイルス感染症の影響を受け農家民宿の宿泊者数が減少しているため、アフターコロナを見据え、旅行動向の変化や顧客ニーズ等を十分に把握した上で一体的かつ効率的な情報発信を行うとともに、地域の魅力を発見・発信する人材の育成や特産品の開発など、地域の魅力を向上させる取組を支援することにより、農山漁村地域への誘客を促進し、地域の活性化を図っていく必要がある。
---

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	県民生活部 中山間・地域振興課
重点戦略	Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム		
施策名	【推進】地域づくりへの民間参加等の促進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	おかやま元気！集落応援団の派遣回数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	8	9	11	13
現況値	8回(2020年度)	実績値	6			
目標値	13回	達成率	75%			
備考		達成度	2			

3 関連する事業名

- ・中山間地域協働支援センター事業

4 施策達成レベル

2.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

中山間地域協働支援センター事業により、センター委託先であるNPO法人の持つノウハウや機動力を生かしながら、企業や大学生等からなる登録ボランティアの地域活動への派遣や、地域のニーズに応じた企業とのマッチング等を行い、地域づくりへの民間参加を促進した。地域活動に派遣するボランティアについては、これまでは団体登録のみであったが、2021年度から個人での登録を可能としたところ、29名の登録を得た。

6 今後の施策推進に向けての課題

積極的な情報発信や、地域づくりに参加・応援する機会の幅広い模索、マッチング等につながる可能性の高い案件の地域への提案等に引き続き取り組み、地域と企業・都市住民等との連携・交流を促進するとともに、地域が抱える課題や地域づくりの取組についての理解を促して、民間参加の裾野を拡大していく必要がある。



2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	県民生活部 県民生活交通課
重点戦略	Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム		
施策名	【推進】地域公共交通の維持・確保		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	地域公共交通計画策定率	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	59.0	62.0	66.0	70.0
現況値	52.0% (2019年度)	実績値	59.3			
目標値	70.0%	達成率	※100.5%			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

- ・ 地域公共交通維持確保支援事業

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

2020年の地域公共交通活性化再生法改正により、地域公共交通計画の策定が地方公共団体の努力義務とされたことから、中国運輸局と連携して市町村への周知を進めるとともに、地域公共交通維持確保支援事業により計画策定経費への補助を行った。このことにより、2021年度末現在で、約6割に相当する16市町村において地域公共交通計画が策定されており、当該計画に基づいて、地域公共交通の再編や輸送機関の利便性向上などの取組が進められている。

6 今後の施策推進に向けての課題

2021年度末現在で計画未策定の市町村は11あり、うち2市町は2022年度中、3町は2023年度中に策定予定であるものの、残り6市町村については策定期間が未定である。地域公共交通計画は、地域の公共交通のあり方を示すマスタープランであることから、全市町村での計画策定を目指し、広域的・専門的な立場からの情報提供や助言、財政支援などを行う。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	土木部 都市計画課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム		
施策名	【推進】持続可能な都市づくりの促進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	立地適正化計画等策定市町数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	6	8	9	9
現況値	2市町(2019年度)	実績値	6			
目標値	11市町	達成率	100%			
備考	2021年度: 8市町(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	4			

3 関連する事業名

・都市計画基礎調査

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

コンパクトで持続可能な都市づくりを進めるため、2020年度は4市、2021年度は2市町が立地適正化計画等の策定・公表を行った。また、策定に向けた取組を進めている2市町については、担当者間の協議や市町の策定協議会等の参加などを通じて支援するとともに、未策定の市町については、説明会を開催し、必要性や制度等の周知を行った。

6 今後の施策推進に向けての課題

立地適正化計画は策定が義務付けられた計画ではないが、コンパクトで持続可能な都市づくりを進めるため、引き続き未策定の市町に対して策定を促す必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	土木部 道路整備課
重点戦略	Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	持続可能な中山間地域等形成プログラム		
施策名	【推進】道の駅の地方創生の拠点としての取組		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	ベビーコーナー設置道の駅数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	2	3	4	8
現況値	5箇所(2019年度)	実績値	2			
目標値	13箇所	達成率	100%			
備考	2021年度: 7箇所(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	4			

3 関連する事業名

- ・「道の駅」関連事業

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

道の駅をあらゆる世代がより利用しやすくなるようベビーコーナーの設置などに取り組んだ結果、県管理の情報コーナーを有するすべての道の駅でベビーコーナーの設置が完了した。

6 今後の施策推進に向けての課題

残るベビーコーナー未設置の道の駅はすべて市町村が施設管理を行っているため、今後市町村に対して設置を促していく必要がある。